

## 食肉標準品名コード（部位コード）の追加について

このことについて、下記のとおり部位コードを追加する。

### 記

1. 追加部位コード：799（ケンタイ）  
\*牛・豚同コード
2. 用途：放射能汚染検査用検体の流通に使用
3. 設定理由：
  - （1）検査用「検体」の個体識別番号の誤読を防ぎ、読取を容易にするため。
  - （2）放射能汚染における自主検査等における「検体」の流通にあたり、その検体のコストを管理できるようにするため。
4. 設定時期：
  - （1）全体会承認後、流通を正式に認め、食肉流通標準化システム協議会としての正式承認は、定期総会とする。

以上

添付資料：サンプル。

# 1. 放射能汚染検査用検体の管理について

検査用検体について「標準部位コード」を付番して、バーコードによる現物管理を可能にする。

部位コード：799

## 1) 部分肉ラベルのバーコード

原産地 <b>東京都</b>	畜種・品種 <b>牛・黒毛和種</b>	部位・品名 <b>ケンタイ</b>
カット規格 <b>レギュラー</b>	 補助バーコード	
個体識別番号 <b>1234567895</b> <small>(251)1234567895(7002)99910102111130</small>	賞味期限 <b>11.08.31</b>	枝番 <b>右1010 P</b>
加工年月日 <b>11.08.01</b>	ロットNo. <b>000000000</b>	シリアルNo. <b>0020</b>
		保存温度°C <b>0.5</b>
 基本バーコード		
加工者 <b>株式会社東京畜産センター</b> 東京都千代田区千代田1-1-1		

### 【補助バーコード】



(251)1234567895(7002)99910102111130

(251) 1234567895 (7002) 999 1010 2 1 11 13 0


↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

個体識別番号 工場番号 枝肉番号 左右区分 畜種 品種 JAS区分 原産地

項目	AI	桁数	記載方法
個体識別番号	251	10	独立行政法人家畜改良センターが付番管理する個体識別番号(耳標番号)を表示する。
枝肉番号	7002	可変長 (最大30桁)	以下の14桁とする。 工場番号(3桁)+枝肉番号(4桁)+左右識別(1桁)+畜種(1桁)+品種(2桁)+原産地(2桁)+JAS区分(1桁) JAS区分は、生産情報公表牛肉であることを表す。 (0.一般規格)

### 【基本バーコード (必須)】

基本的な項目を表示するバーコード



(01)94912345179909(3102)000050(11)110501(21)999112345678

①商品コード (メーカーコード+標準品名コード) 7990:ケンタイ

②重量

③製造年月日

④カートンID